



〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6
E-mail saiseikh-s@po3.nsknet.or.jp

TEL 076-266-1060 FAX 076-266-1070
URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

ご利用の皆様へ

副院長 瀬田 孝



当院内科の取り組みについて

皆様、如何お過ごしでしょうか。

現在の当院内科での取り組みの一端を紹介させていただきます。

糖尿病診療に関して、インスリン注射療法あるいはGLP-1受容体作働薬注射を行っている患者さんには自己血糖測定をお勧めしていますが、今回、当院でも指先を穿刺しなくても測定器を上腕皮膚に接着させたセンサーにかざすだけで血糖値(正確には組織間液のブドウ糖濃度)が測れるフラッシュ・グルコース・モニタリングシステムを導入しました。このシステムは14日間連続して血糖値がモニターされますので、夜中の低血糖の有無もわかります。朝食前に何も食べていないのに血糖値が高い場合がありますが、この原因の一つとして夜中の低血糖があります。低血糖がおこると血糖を上げようとするホルモンの分泌が増えますので、低血糖後の高血糖(これをソモジ効果といいます)がおこるわけです。この場合、朝食前の高血糖を下げるには夜中に低血糖が起こらないようにインスリン注射量を減らす必要があります。朝食前高血糖の原因の二つ目は暁現象と言って、就寝後の成長ホルモン分泌や早朝のコルチゾールの分泌によって明け方に肝臓からブドウ糖が多く血液中に放出されることが挙げられます。この暁現象による朝食前高血糖を下げるにはインスリン注射量を増やす必要があります。これまで、朝食前高血糖がソモジ効果によるものなのか暁現象によるものなのか区別することが難しかったのですが、このフラッシュ・グルコース・モニタリングシステムによって両者を区別することが出来るようになり適切な治療が行えるようになりました。

循環器診療に関しては、虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)を発症した患者さんに対して心臓カテーテルによる冠動脈造影および治療(ステント留置術)を行っています。また、虚血性心疾患の発症予防にも力を入れており、危険因子である高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喫煙の管理と同時に、これらの危険因子を多く有する患者さんに対してはCTスキャンによる冠動脈造影検査も勧めております。更に、心房細動による脳塞栓症の予防として血液抗凝固療法にも積極的に取り組んでいます。また、完全房室ブロックなどの不整脈に対してペースメーカー植え込み術も当院で行っています。

血液透析患者さんにとって、内シャントの血流は重要であり内シャントは命綱とも言えます。この内シャントに狭窄や閉塞が起こった場合にはヴァスキュラー・アクセス・インターヴェンション・セラピー(Vascular access intervention therapy:略してVAIVT)を行っています。このVAIVTは内シャントの狭窄～閉塞部をカテーテルを用いて広げ血流を改善させる治療法です。これにより透析療法を継続できるようになります。

また、腎臓内科では慢性腎臓病(CKD)から腎不全にならないようにCKDの進行・悪化を防ぐ目的でCKDの患者さんを対象としてCKD教育入院も行っています。

関節リウマチに関しては、抗リウマチ薬、生物学的製剤などの薬を用いて治療を行い、関節痛や関節変形で患者さんが困らないようにしたいという思いで診療にあたっています。

以上、現在の当院内科診療の一端をご紹介申し上げました。

今後とも、済生会金沢病院を宜しくお願い申し上げます。

金沢百万石まつりに参加しました！

6月1日～3日にかけて、「第67回金沢百万石まつり」が開催されました。2日の「百万石行列」が終わり、辺りが薄っすらとなり始めた頃から、香林坊・広坂・片町通りを会場に「百万石踊り流し」が開催され、当院からも総勢52名の職員が参加しました。水色の昇り旗を掲げやや渋めの浴衣姿ながら、他のチームに負けないくらい元気一杯の踊りを披露し、当院を大いにアピールしてきました。踊りきった皆さんは、院内とまた違う笑顔や達成感の表情が一段と素敵でした。

3日には、協賛行事である「第15回加賀百万石ツデーウォーク」に15名の職員が参加しました。金沢駅兼六園口を出発し、犀川沿いを中心に、西茶屋街や長町、金沢城公園を散策する8キロのコースを2時間半かけて完歩しました。当日は天候にも恵まれ、揃いのユニフォームを着用し、のぼり旗を掲げて、金沢の伝統的な街並みや自然景観を楽しみながらウォーキングを満喫しました。

来年は、それぞれのチームにもっと多くの参加者を募り、職員同士の輪を広げ、地域の皆様に当院をアピールしていきたいと思っています。



踊り流し



加賀百万石ツデーウォーク

防犯情報掲示板を設置しました☆



6月20日(水)当院エントランスホールにおいて、金沢西署の水井署長より横川院長へ最新の防災情報を紹介する「バイボリス掲示板」の贈呈式が行われました。

特殊詐欺の手口や交通事故などの情報を高齢者の多い病院で発信し、注意を呼び掛けることを目的としており、金沢西署の水井署長は「いち早く情報を伝え、被害を減らしたい」と話し、横川院長は「診察などの待ち時間に是非見てほしい」と期待を込めました。

『石川県地域生活定着支援センター』を 開設しました

石川県済生会では、今年度より「地域生活定着支援センター」を病院内に開設し、専従職員3名、兼務職員2名の計5名体制でスタート致しました。

これまでは、行政によって運営されていましたが、昨年度、県から当支部へ事業委託の申し入れがあり、受託の意向を支部理事会に諮り、全会一致で受託が決定したものです。

同センターは、全国の済生会グループでは5番目の受託であり、刑務所から出所した高齢者や障害者の皆さんが福祉サービス等を利用できるように支援を行っています。

今後は、生活困窮者支援という済生会の大きな使命を果たすべく、積極的に事業を展開していきたいと思っています。



中高生職場体験・インターンシップが行われました



当院では、「次世代の医療人を育てる」をテーマに、毎年、市内の中高生の職場体験・インターンシップの受け入れを行っております。

今年は、7月4日～6日に西南部中学校と7月24日～26日に緑中学校の2年生計16名、7月30日に泉丘高校と8月2日～3日に二水高校の2年生計10名が来院しました。

内容としては、手術部では手洗い・縫合・心肺蘇生体験、検査部では血液型調べ等の他、医師を目指す高校生には内視鏡体験、中学生にはイーバックチェア（体の不自由な方のための階段避難器具）による避難訓練なども体験してもらいました。

もともと医療や看護等に興味のある生徒が多く、どの部署でもとても熱心に取り組み、受入れた現場の職員達もこの内の一人でも多くが、将来医療の道に進み、当院とのご縁もできればとの思いで、生徒達を温かく指導していました。

生徒達は、初めての体験に目を輝かせ、命の大切さや仕事の難しさ、やりがいなどを感じ取っていたようです。



ハーモニカサマーコンサートが開催されました♪

8月6日、当院エントランスホールにおいて『オヤジバンド F&6』によるハーモニカサマーコンサートが開催されました。メンバーは、がんサバイバーとがんピアサポーター等の皆さんで、2010年の結成以来、がんの悩みなどを語り合い、療養を続ける傍ら練習を積み重ね、主に医療機関等でコンサート活動を行っています。

今回は、外来や入院患者さんら約40名の聴衆を前に「少年時代」や「ドレミの歌」「世界に一つだけの花」等11曲を見事に演奏し、楽器紹介コーナーでは、和音でリズムを刻むコードハーモニカやリズムと低音部を担当するバズハーモニカなどが披露されました。

観客は、曲に合わせて一緒に口ずさんだり、手拍子をするなど、とても楽しんでいました。

また、この後3階の緩和ケア病棟のデイルームでも車椅子や寝たきりの入院患者さん達を前に演奏会が行われ、患者さん達は勿論、看護師達スタッフも気持ちよく穏やかなひと時を過ごさせていただきました。



登録医のご紹介

はんだ整形外科クリニック

住所：〒920-0056
金沢市出雲町220

TEL：076-222-3307

診療科名：整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科

休診日：日曜、祝日、火・金曜午後

院長：飯田 唯史



この度、2018年4月7日 はんだ整形外科クリニックを金沢市出雲町にて開業いたしました。はんだ整形外科クリニックは無床クリニックで、小児から高齢者まで全ての整形外科疾患を対象に診察いたします。

『医療を通じて、みんなが笑って暮らせる社会作りに貢献します』を理念としております。

この地において、地域医療の充実と発展のため、また地域の皆様とともに新しい街作りに貢献できるよう努めてまいります。